

職務経歴書 - 立石祐将

基本情報

Title	value
氏名	立石 祐将 (たていし ゆうすけ)
生年月日	1992/04/18
連絡先	MessengerかXでご連絡ください。

summary

- 主にプロダクトマネージャーとしてプロダクト企画を担当しています。
- 開発部長として開発組織のマネジメント・経営との繋ぎ込みもしていました。
- 不確実な状況に飛び込んでどうにかするのが得意です。

職務経歴サマリ

時期	会社	立ち位置	役割
2017/04 - 2019/07	株式会社DONUTS	プロダクトマネージャー	ライブ配信サービスにおける監視体制の 確立 新規プロダクト (toB,toC)の開発・グロ ース
2019/07 - 2022/05	レッドフォックス 株式会社	開発部 部長(2019/09 - 退 職まで) 開発部 副部長(2019/07 - 2019/09)	経営と連動したプロダクト・開発組織の マネジメント
2022/05 - 現 在	STORES株式会社	プロダクトマネージャー ユニットオーナー	1プロダクトオーナー

職務経歴

株式会社DONUTS

新卒入社から2年少し在籍していました。新卒からプロダクトマネージャーとしての役割を与えられ様々な経験をさせていただきました。主なプロジェクトは以下の通りです。

ライブ監視体制見直しおよび再構築

ライブ配信サービス内の悪質なコンテンツの排除を目的として監視ツールの仕様見直しと改修の推進を行いました。危険度の高いライブ配信に共通する要素を特定し、同要素を持つ配信を検出するシステムを作成しました。また、担当者が効率的に業務を遂行できるよう、関しツールの仕様修正と改修の推進も行いました。

またツールだけでなく監視体制も刷新しました。監視人員の増加と監視方法の改善を提案し、社内外の関連部門や外部業者との連携を強化して、悪質なコンテンツを迅速に発見・対応できる体制を構築しました。

結果として悪質なコンテンツの数が1/20程度に減少しました。

VTuberディレクター

VTuberを制作・運用するプロジェクトが立ち上がり、企画全般を担当しました。具体的な業務内容としては、キャラクター設定の取りまとめ、イラストレーターの選定・発注・調整、アクターの選定・教育・マネジメント、契約処理、配信環境の整備、3Dモデル作成PJの推進などになります。

他社事例の調査や書籍情報を基に大枠の業務フローを構築し、外部のイラストレーターやアクターを含めた20人弱のプロジェクトを取りまとめました。結果として5つのキャラクターをリリースしました。

toBサービス新規プロダクト企画

新規SaaSのプロダクト企画を担当しました。

競合リサーチや企画書・仕様書の作成など、新規プロダクトの草案作りから始まり、エンジニアリング組織の構築・ディレクションなどPJ推進も担当しました。ビジネスサイドと協力し、値段設計や対外的なマーケティング内容の策定、販売オペレーションの設計など、事業として成立させるための動きを幅広く担当しました。

レッドフォックス株式会社

営業管理活動アプリ [cyzen](#) を提供しており、cyzen事業部の開発部長を3年弱しておりました。開発組織のトップとして、事業・会社経営と連動しながらプロダクト・組織をマネジメントしていく役割を担いました。

経営・事業とプロダクト開発の繋ぎ込み

- 戦略・計画の理解と落とし込み
 - 経営層と密にコミュニケーションを取り、会社として目指している戦略・方向性を深く理解し、メンバーへ正しく伝達していくことに注力しました。
 - またプロダクトロードマップやソフトウェアとしてのあり方など、開発組織としての計画が正しく経営・事業戦略の意図と連動した形になるよう調整を行いました。
- 開発組織目線での経営層への提言
 - 会社・事業としての方向性を決めるにあたって、プロダクトおよび開発組織の現状などから取り得る選択肢や、より重視すべき領域の提言を行ったりしていました。

プロダクトマネジメント

- プロダクト方針の策定
 - 場当たり的な開発が続き、誰のどんな課題を解決するものであるか見えづらくなっていたため、経営指針・事業指針と連動する形でプロダクトの大方針を定め、方向性を明確にしました。
- プロダクトマネジメントの導入
 - 継続的な顧客課題理解のため、VOCやリサーチ結果を収集・管理する体制を構築しました。

- またそこから得られるインサイトや仮説、求められるソリューション案なども管理しやすい体制を構築しました。
- 開発プロジェクトのマネジメント
 - 開発プロジェクトのマネジメントも担当し、開発メンバーと共に機能開発に向けたタスク洗い出し・整備・管理なども対応しました。
- オペレーション構築
 - 機能・プロダクトの提供に向けたオペレーションの構築など、価値提供に必要なことを手広く推進しました。

組織マネジメント

- 採用
 - 組織拡大に向け、業務委託メンバーの採用を推進しました。
 - 各種エージェントへのアプローチ、要件整理、面談評価などの採用業務を実施しました。
 - 組織内での役割定義、オンボーディングのサポートを通じて、戦力化に向けた準備を整備しました。
- 評価・育成
 - 開発組織の長として、メンバーの評価・育成を行いました。
 - 経営レイヤーで行われる半期ごとのメンバー評価にて開発部メンバーの業績説明・アピールを行いました。
 - 主に1on1ミーティングを通じての各メンバーの課題抽出や成長・活躍支援を行いました。
- 経営管理との連携
 - 部としての活動が管理会計の側面から把握できる状態にしました。
 - 予算の策定・調整、ソフトウェア資産の管理、稟議体制の構築・実行を通じて、管理会計と開発部の活動が連動するようにしました。

事業開発

- 他社とのライアンスおよび事業開発
 - 大手家電メーカーと協業の機会があり、その中でプロダクト開発・ビジネス開発をリードしました。
 - プロダクト開発
 - プロダクトの提供価値・顧客へのメッセージング・市場におけるポジション、本サービスの市場における大枠の立ち位置を策定しました。
 - プロダクト要件・仕様の調整、開発プロジェクトの進行など、サービス実現に向けたプロジェクトのリードを行いました。
 - サービス提供にかかるシステムやオペレーションフローの策定・体制の構築など、サービス提供のための整備を行いました。
 - ビジネス開発
 - 提供サービスの素案作りから、提供に向けた両者間の役割・提携のあり方の合意取付をリードしました。

- 提携後も、サービス提供価値や提供手法、価格など事業としてのあり方を固めていくフェーズをリードしました。

STORES株式会社

中小・中堅企業の方々に向けて、**複数のプロダクト群**をコンパウンドに提供して事業成長をサポートする会社です。入社時から変わらずプロダクトマネージャーとして勤務しています。

既存プロダクトのグロース

既存プロダクトのプロダクトマネージャーとしてアサインされ、グロースの役割を担いました。

- 事業・プロダクト戦略策定の推進
 - 翌年の事業・プロダクトの戦略および計画を立てるための推進を担いました。
 - 各種リサーチ、方向性の叩き台作りおよび提案、意思決定層への情報のインストール、不明瞭点潰しなどを通して議論の推進をリードしました。
- 開発プロジェクトのリード
 - アサインされた開発メンバーと共に機能開発を進めました。
 - 要求・要件を整理し開発開始の地盤を固めつつ、開発プロジェクトとしての進行管理なども行いました。

新規プロダクトの立ち上げ

新規プロダクト開発のPJにプロダクトマネージャーとしてアサインされ、立ち上げとグロースの役割を担いました。

- 新規プロダクトの立ち上げ
 - 複数のプロダクト群の共通機能として提供できる、横断的なデータ分析プロダクトの立ち上げを担当しました。
 - 複数プロダクトが存在する中での本プロダクトの役割や、リリース要件・その後の登り方の策定などを策定しました。
 - この時の振り返りはnoteの方にまとめてあります。
- 横断分析プロダクトとしてのグロース
 - 本プロダクトのリリース後も引き続きグロースを担当しています。
 - プロダクト・チームのオーナーとして、方向性・提供価値の策定から要件定義・プロジェクトマネジメントなど幅広に対応しています。

スキル・経験

経営戦略とプロダクト・開発組織との繋ぎ込み

- 経営・事業上の戦略を理解し、呼応したプロダクト開発を推進します。
- プロダクトだけでなく、それを生み出す開発組織にも経営・事業上の戦略意図を浸透させる力があります。
- プロダクト・開発組織の観点から経営・事業戦略に対してFB・提言することができます。

プロダクトマネジメント

- 継続的かつ意味のあるプロダクト開発を行えるようにするため、中長期的なプロダクト・事業方針の策定を推進できます。
- 都度都度の事業目標の達成を考慮に入れながら、プロダクトを中長期目線で成長させる方法を考えます。

- 顧客理解を深め、解決すべき課題とソリューションを定義することに強みがあります。

プロジェクトマネジメント

- 機能開発のプロジェクト管理ができます。
- opsやbizも含めたサービス全体を捉え、ただものを作るだけではなく、顧客に問題なく利用いただけるようになるまでの筋道を立て、実行します。

事業開発

- 既存アセットを活用しながら、新しい領域・新しい提供価値を模索します。
- 実際の価値提供に至るまでに必要な対応・プロジェクトをリードし、価値提供まで漕ぎ着けます。

学歴

時期	学校名・専攻	学位
2015/04~2017/03	京都大学 大学院 工学研究科 建築学専攻	修士
2011/04~2015/03	京都大学 工学部 建築学科	学士

言語

- 日本語（母国語）

インタビュー・記事など

- [レッドフォックス時代のインタビュー記事](#)
- [転職した際のインタビュー記事](#)
- [STORES株式会社での新規プロダクト立ち上げについて](#)

連絡先情報

- Facebook: <https://www.facebook.com/tateuishi.yusuke>
- Twitter: https://x.com/tanukin_dayo
- LinkedIn: <https://www.linkedin.com/in/%E7%A5%90%E5%B0%86-%E7%AB%8B%E7%9F%B3-6342a230b/>
- 居住地：福岡県福岡市